



京放技ニュース

4 / 2022
(通算743号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

公益社団法人 京都府放射線技師会

令和4年度を迎えて

京都府放射線技師会 会長 河本 勲則

新型コロナウイルス感染「第6波」の襲来で令和4年年始から感染患者の増加に歯止めがかからず2月上旬にピークとなり未だに新規感染患者数も衰える気配もありません。京都府でも病床使用率が高い水準であることから2月中旬以降まん延防止等重点措置が発令され、3月中旬まで延長されました。これにより社会経済活動が制限され緩和の目途が立たない状況で会員の皆様も生活や健康に不安やストレスを抱えて毎日を過ごされていることと思います。

令和3年度の当会事業は概ね研修会等を Web 開催で行いました。定例研修会では毎回50名程度の視聴者があり、京放技学術大会では146名の視聴者で特別講演でのチャットによる質疑応答でも多くの質問がありました。また理事会や事務所での会議では参加者の安全を考え、十分な感染対策を講じて行いました。

一方、昨年7月に診療放射線技師法が一部改正され全診療放射線技師に受講が義務づけられました厚生労働省第273告示研修の開催を3月に予定していましたが、京都府のまん延防止等重点措置の発令により中止となりました。

令和4年度の事業も昨年同様に定例の研修会、京放技学術大会、府民公開講座の開催を予定しています。また告示研修(実技研修)につきましては、年4~6回の開催で予定をしていましたが、3月開催が中止となったことから早期に開催の準備をして会員の皆様にご案内をしたいと考えています。コロナ感染患者の動向により開催予定が変更される可能性が高いので、日放技、京放技のホームページや地区連絡網にて確認をしてください。

コロナ禍の中で業務環境も厳しくなる一方ですが、医師のタスクシフト・シェアに伴う診療放射線技師の業務拡大が認められ、厚生労働省は各病院での取り組みを調査することを通達しています。診療放射線技師の拡大業務への意識改革が試されていると感じていますので各施設の所属長が業務への取り組みや告示研修への受講を今一度熟考していただくことが重要と考えています。診療放射線技師の身分向上や職場の定数性や診療報酬にもつながることであると思います。

令和5年には当会75周年記念事業を行います。記念式典の開催や記念誌の作成を予定していますので、実行委員会を立ち上げ準備も進めて参ります。

令和4年度も患者さんに安全で安心な医療の提供と必要な臨床画像情報の提供を目指して執行部一同活発に活動する所存でございます。会員の皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

令和4・5年度地区選出理事候補者選挙開票報告

令和4年3月5日

公益社団法人 京都府放射線技師会
選挙管理委員長 林 浩二

令和4・5年度地区選出理事候補者（敬称略）選挙開票結果を下記のとおりご報告いたします。

北地区 有権者数 79、投票者数 45、投票率 57.0%

当選：大北 哲也（京都府立医科大学附属病院）41票

中地区 有権者数 70、投票者数 42、投票率 60.0%

当選：岡山 英喜（京都南病院）1票

（当選者1・2位理事就任辞退により繰り上げ当選）

東地区 有権者数 113、投票者数 44、投票率 38.9%

当選：田村 知之（洛和会音羽病院）39票

西地区 有権者数 119、投票者数 58、投票率 48.7%

当選：丸山 久喜（向日回生病院）47票

南地区 有権者数 94、投票者数 27、投票率 28.7%

当選：杉原 哲雄（京都きづ川病院）16票

両丹地区 有権者数 80、投票者数 52、投票率 65.0%

当選：大門 律男（京都府立医科大学附属北部医療センター）50票

西南地区 有権者数 79、投票者数 20、投票率 25.3%

当選：松本 洋一（大阪医科薬科大学病院）14票

総計 有権者数 634、投票数 288、投票率 45.4%

尚、選挙管理委員会では、5月7日（土）開催の通常総会にて、令和4・5年度役員の発表および令和4・5年度監事選出選挙を行う予定です。

会 告**第75回 公益社団法人京都府放射線技師会通常総会開催のお知らせ**

公益社団法人 京都府放射線技師会
会長 河本 勲則

第75回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会を定款第24条に基づき開催いたします。尚、今回の総会は新型コロナウイルス感染症対策を行い、参加者の健康と安全を考え、少人数で短時間の開催を予定しています。よって、昨年と同様に議案は書面表決で行いたいと存じます。会員の皆様には、ご多忙のところ申し訳ございませんが、総会資料に同封される委任状と書面議決書を5月6日(金)必着で事務所へ返送をお願いいたします。

日 時：令和4年5月7日(土) 14:00～
会 場：京都府民総合交流プラザ 京都テルサ
東館2F 視聴覚研修室
住 所：京都市南区東九条下殿田町70番地
電 話：075-692-3400

【通常総会次第】

開会の辞

議事

1. 議長選任の件

2. 議案

第1号議案

- (1) 令和3年度事業報告書(案)
- (2) 令和3年度会計決算書(案)
- (3) 令和3年度監査報告

第2号議案

- (1) 令和4・5年度理事(会長および副会長を含む)の選任
- (2) 令和4・5年度監事の選任

3. その他

- (1) 令和4年度事業計画報告
- (2) 令和4年度予算書報告

4. 議事録署名人選任に関する件

閉会の辞

● 公益社団法人京都府放射線技師会 令和4年度事業計画・予算書 ●

公益社団法人 京都府放射線技師会
会長 河本 勲則

令和4年2月5日に行われた令和3年度第10回理事会にて、令和4年度事業計画と収支予算が承認されましたので、以下に報告いたします。

令和4年度事業計画

1. 総括

令和3年度の事業は、4月よりコロナワクチン接種が始まり2回目接種が終了するころには感染患者も減少したことから、規制緩和され少人数での飲食や観光が可能となり、コロナ感染拡大以前の生活が少しはできるようになりました。会員の皆様のご協力により概ね3年度の事業につきましては、終了することができましたことを感謝申し上げます。しかしながら、感染のリスクや安全性を考慮して研修会や講習会はWebでの開催と致しました。年始から新種オミクロン株感染患者が拡大傾向にあり、軽症者が多いと言われていますが市中感染も報告されています。現状を踏まえ研修会等の開催には世の中の動向や日放技の指導のもと慎重に検討して行います。

今年度は、定例研修会や全地区委員会のほか、会場型で行います告示研修（実技研修）の開催も予定しています。コロナ禍でもより安全な開催に心がける所存でございます。

日本診療放射線技師会（以下、日放技）主催の生涯セミナーや医療基礎講習会は、開催依頼に従い、また開催要項を検討した上で行います。新人教育や若手技師のための臨床セミナーも継続して開催を考えています。

関西広域連合の参加団体として合同研修会や災害訓練へ参加します。また原子力災害医療協力機関として原子力災害時の医療対応に協力します。京都府が行う原子力合同災害訓練や、福知山市や南丹市等の災害訓練にも積極的に参加します。

医療放射線の安全性の啓蒙や放射線検査内容の把握と診療放射線技師業務内容の理解を求め、京都府看護協会や看護専門学校の放射線検査や放射線治療の授業へ講師を派遣します。さらには、臨床検査技師会や臨床工学技士会と医療従事者間の業務内容把握を目的とする研修会や講習会に参加協力し講師も派遣します。

京都医療推進協議会事業へも積極的に協力し、活動を通して関連団体との関係強化を図り、京都府民の健康増進と安全で安心な医療の提供に寄与します。

会員数の増加推進については、新卒者入会促進として日放技主催のフレッシューズセミナーの開催や放射線技術や臨床知識の向上を目的とした研修会を開催いたします。また医師の働き方改革によるタスクシフト/シェアの推進から診療放射線技師の業務拡大のための研修にも必要性を鑑み、昨年7月の診療放射線技師法の一部改正に伴う告示研修（実技研修）を年に4から6回（1回48名）開催する予定にしています。京都府下全診療放射線技師の参加を目指し、機関誌や当会ホームページにて広報します。修了者のOJT（On the Job Training）についても京都府看護協会へ協力をお願いし開催できるよ

うに準備をいたします。

診療放射線技師の専門性を生かした高度なチーム医療の推進と業務や求心力の向上を目的に情報共有の場として発足しました、京都府下病院と会員施設代表による技師長、副技師長会を開催します。特に放射線安全管理や業務拡大については、厚生労働省通達事項等の情報伝達に主観をおいて研修会や検討会の開催を企画します。

研修会や講習会につきましては、主に Web 開催が基本になります。開催のご案内や参加の方法については、迅速な対応で当会ホームページや地区連絡網にて広報し、何時でもどこでも簡単に参加ができるように努めて参ります。

公益社団法人に適合した会計管理と組織運用を継続し、放射線の専門家が集う職能団体としての信用を確立します。

コロナ感染症患者の終息が見えない中ですが、診療放射線技師には放射線の専門家として府民への安全で安心な医療の提供のために正確な画像情報の提供と被ばくの管理や感染対策を講じる責任があります。今年度も非常に厳しい環境下になると予想されていますが、診療放射線技師の業務への理解と地位向上を目指し活動して参ります。会員の皆様の京都府放射線技師会へのさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

(1) 令和3年度「第47回くらしと健康展」は、コロナ禍で中止となりましたことから「くらしと健康展」実行委員会より今年度の開催が決定された場合は、放射線の専門家として京都府民に放射線を利用した検査や治療に関する疑問や不安の相談と診療放射線技師業務や職能について啓発、広報します。新しい企画での開催も視野に入れ、診療放射線技師が府民の皆様へ広く業務内容について理解していただけるように放射線管理士委員と連携し、相談の対応や啓蒙活動を行います。情報委員会では、当会ホームページに最新情報を掲載し、会員だけでなく府民の皆様にも社会性や公益性をご案内し情報公開します。

今年度も他団体との連携も強化して共同研修会での講演も積極的に行います。

(2) 国や京都府主催の災害関連事業にも積極的に参加協力し、原子力災害医療協力機関として京都府が開催します放射線被ばく（原子力関係）に関する原子力災害訓練や講習会などに診療放射線技師を派遣いたします。

無資格者による診療放射線技師業務の防止については、管理者が法定独占業務を確定する診療放射線技師法を遵守されるように関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、コンプライアンス重視の社会情勢の中で京都府民が安心して放射線診療を受けられる環境整備に協力を求めます。

(3) 「第57回京都病院学会」については、昨年と同様に Web 開催で準備され、会期につきましても昨年同様10月、11月で検討をされています。今年度も実行委員と座長の派遣予定をしています。特に若手技師会員が放射線技術の向上と医療安全やコ

コロナ感染等の感染管理への研究発表ができることから、医療従事者との連携や情報共有の場として活用しています。

- (4) 組織調査活動については、各会員施設及び技師養成学校へ新卒者の京都府下への就職先調査を基に厚生委員会と協力してフレッシュ診療放射線技師の集いを開催いたします。

しかしながらコロナ禍で開催も不透明であることから新しい企画も検討中です。

研修会やイベントで技師会への入会促進を行い、会員間の求心力の向上を図り、各地区の活性化に向けて全地区委員会を開催し、会員との意見交換や技師会の事業推進への協力を求めます。さらには、会員への調査事業を活発にするとともに各地区委員会へ三役、常務理事が参加して地区活動の問題点を洗い出し、周知して活性化を図ります。

各地区班編成の状況を調査し、再編成を含めて地区活動の活性化を行います。新入会員や若手会員の意見収集から事業へ取り入れて参加しやすい研修会や講習会を企画します。

調査に関しては、会員へのアンケート結果や要望を検討し、多くの会員が気軽に参加できる参加型事業を展開して参ります。

- (5) 技師長、副技師長会の開催については、会員施設の技師長、副技師長に参席を頂き医療や業務情報の共有と診療放射線技師の専門性を生かしたチーム医療の推進についての検討会や医療法、診療放射線技師法の改正等の研修会、意見交換会の開催をいたします。

コロナ感染対策から Web 開催を主に考えています。メンバー内でメールでの情報共有も行います。

- (6) ベトナム海外事業につきましてはコロナ禍で活動しておりませんが、近畿地域診療放射線技師会の動向を踏まえて検討して参ります。

3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動については、京都府放射線技師会の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を目指し、会員が望む生涯学習教育及び会員相互の学術、知識、意識向上の情報交換のできる研修会や府民に求められる健康増進と自立生活維持に関する講演会や公開講座を関連団体にもご協力いただき開催をいたします。定例の研修会では、Web 開催やコロナ感染対策を十分整えた上で、新入会員向けの基本的な技術や専門的な内容と検査に求められる臨床医学知識も含め、また一般的な医療情報と健康長寿や健康維持の話題も取り入れ開催いたします。チーム医療の一員として医療従事者に求められる医療安全、感染対策、接遇の習得や法改正に伴う告示研修(実技研修)の開催も致します。業務拡大に伴う統一講習会は、告示研修を受講する前の重要な講習会として考えています。今年度も東京、大阪で開催が予定されていますので、講師の派遣も検討いたします。

- (1) 京都市内開催

特に開催月は決めず、Web 開催を基本に会員が参加しやすい時間帯（ウィークデイ

の夜や土曜日)を検討し、年6回程度の予定で開催します。

会場開催につきましては、京都府のコロナ感染症対策指導方針に従い開催を検討します。

(2) 両丹地区開催

開催は限定せず、Web開催を基本に研修会を年3回程度行います。

(3) 日放技主催の基礎技術講習および医療基礎コース等の生涯教育講習会の開催につきましては、近畿地域診療放射線技師会の動向を鑑みて開催します。

厚生労働省告示第273号研修における実技研修を年4回から6回開催します。

(4) 京放技学会の開催

年度末に臨床放射線画像診断やテクニカルスキルをテーマにした特別講演や各地区代表者による演題発表を基本企画としてWeb開催で行います。

(5) 府民公開講座の開催

府民公開講座を年1回開催します。

Web開催で準備をいたしますが、コロナ感染症患者の状況次第で会場型も検討します。

(6) その他

医療従事者として必要とされる知識やスキルを習得する研修会も積極的に開催します。

*研修会は、会員無料、非会員は有料とします。

*技師会主催のWeb研修会は会員限定で行います。

管理士活動については、管理士会の事業推進を図るとともに、学術・広報・組織調査委員会と連携し「くらしと健康展」への開催協力や医療被ばくに関する講習会も開催します。

放射線に関する実態調査やアンケートを行い集約し啓蒙活動に繋がります。さらには関西広域連合合同訓練や府下市町の原子力災害・防災関係の講習会や訓練、緊急被ばくフォーラムなどの研究会に積極的に参加して原子力災害時の診療放射線技師派遣要請の準備を行います。

近畿地域診療放射線技師会学会大会では、他府県の管理士会と合同で研修会やシンポジウムを開催し交流を図ります。京都医療科学大学の協力のもと線量計の取り扱いや校正作業と被ばく管理に関する講習会を開催し、京都府下各病院施設と正確な線量計管理と災害時の被ばく線量サーベイへの協力体制を充実させます。医療法改正に伴う患者被ばく線量の記録管理に関する医療従事者対象の研修会開催も検討しています。

4. 情報事業（編集・情報）

編集活動については、技師会機関誌「京放技ニュース」は毎月1日に発行とします。

「京放技ニュース」は会員へ当会の事業報告や最新医療情報の提供と会員相互の情報交換ツールであります。また会員からの意見や要望と経験談も投稿していただき掲載します。紙面につきましては、各委員会と連携し読みやすい構成と研修会等の開催計画を掲載し

て会員が予定を立てて参加しやすいような構成にします。

年度末に発行しています「京都府放射線技師会雑誌」につきましては、会員のみならず一般の方が読んでも話題提供できる内容とし、紙面のデジタル化やSNSの活用も検討します。また当会ホームページへの掲載も行います。

情報活動（主にホームページ更新）については、京放技、日放技関係の事業活動内容などインターネットを通じて広報し会員への迅速な情報提供に心がけ、会員相互の交流や技術、知識の向上を目的とし、会員からの投稿も掲載して閲覧しやすくしています。

そのほか関連他団体とのリンクや研究会、勉強会のご案内も行います。

府民に対しては、公益社団法人としての役割を十分に果たせるよう府民向けの内容も掲載をして府民の健康寿命の延伸活動の一助にさせていただける内容も企画します。

また公開講座や各種放射線に関連するイベント等のご案内と組織調査、広報渉外、放射線管理士の各委員会とともに情報提供を行い、府民向けの医療被ばくや各種放射線診断、治療機器コーナーを充実させます。府民からの放射線に関する質問や相談についても活用できるよう正確かつ迅速に回答できる環境を整え、診療放射線技師業務と医療従事者としての役割を周知していただきます。

5. 厚生事業

厚生事業については、会員相互の親睦を図るための重要な事業であり、主に親睦を深める事業を企画します。しかしながらコロナ禍では会合や会食等を行えず、令和3年度も活動できていません。SNSやWeb開催での親睦や意見交換の場を検討し「フレッシュ診療放射線技師の集い」や「新春の集い」の開催が行えるよう検討します。

6. その他

(1) 表彰関係

当会の事業実績や会員の功績、功労に対し、個人・団体表彰の推薦を積極的に行います。

日放技75周年記念式典に伴う厚生労働大臣表彰や日放技勤続50年、30年表彰者推薦申請も行います。

(2) 法人設立40周年（創立75周年）記念事業

令和5年度開催に向けて実行委員会を立ち上げ記念事業の準備をいたします。

(3) 公益法人活動

京都府の立ち入り検査が2月に行われ、公益法人事業について京都府指導のもと改善を行い活動致します。

財務関係では、公益法人会計基準に即した正確な決算報告と事業報告を作成し、事業運用では、規程、規則の改訂や立ち入り検査後の指摘事項を修正して、明確な事業推進と期末報告が行えるよう担当理事の協力のもと公益法人に則した活動をしたいと存じます。

令和4年度収支予算書(収支ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 京都府放射線技師会

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部	100	100	0	
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入基本財産運用収入				
②受取会費収入	7,100,000	6,950,000	150,000	
正会員会費収入	6,550,000	6,400,000	150,000	会員 640名 新入会 10名 新卒入会 10 分名
賛助会員会費収入	550,000	550,000	0	25,000 円×22
③事業収入	450,000	600,000		
広告料収入			△ 150,000	
④受取補助金収入	0	0		
日本放射線技師会補助金収入			0	
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000	0	
⑤受取負担金収入	80,000	80,000		
日本放射線技師会負担金収入			0	
⑥寄付金収入	10,000	10,000		
寄付金収入			0	
⑦雑収入	10,050	10,050	0	
受取利息	50	50	0	
雑収入	10,000	10,000	0	
⑧特定資産取崩収入	0	0	0	
	0	0	0	
	0			
事業活動収入合計(A)	7,740,150	7,740,150	0	
2. 事業活動支出	4,694,000	4,598,000	96,000	
①事業費				
印刷製本費	1,200,000	1,000,000	200,000	
通信運搬費	660,000	660,000	0	

通信運搬費	40,000	40,000	0	
連絡費	500,000	500,000	0	
IT関連費	100,000	100,000	0	
電話料	20,000	20,000	0	
賃借料	400,000	400,000		
会場費			0	
諸謝金	200,000	200,000		
講師費			0	
創立75周年記念誌発刊準備委員会費	10,000	10,000	0	
法人設立40周年記念事業準備委員会費	50,000	10,000	40,000	
福利厚生費	195,000	295,000	△ 100,000	
調査研究費	50,000	50,000	0	
図書費	5,000	5,000	0	
福利厚生費	50,000	150,000	△ 100,000	
渉外費(慶弔)	90,000	90,000	0	
会議費	390,000	350,000	40,000	
学術	50,000	40,000	10,000	
編集	70,000	50,000	20,000	
広報渉外	10,000	10,000	0	
組織調査	40,000	40,000	0	
管理士会	30,000	30,000	0	
厚生	20,000	20,000	0	
情報	40,000	20,000	20,000	
特別	30,000	40,000	△ 10,000	受賞者選考
地区(7地区)	100,000	100,000	0	
旅費交通費	165,000	175,000	△ 10,000	
学術	30,000	30,000	0	
編集	10,000	10,000	0	
広報渉外	5,000	5,000	0	
組織調査	20,000	20,000	0	
管理士会	10,000	10,000	0	
厚生	10,000	10,000	0	

	情報	10,000	10,000	0	
	特別	20,000	30,000	△ 10,000	受賞者選考
	地区(7地区)	50,000	50,000	0	
広報渉外		80,000	130,000	△ 50,000	
	くらしと健康展	20,000	20,000	0	
	原子力災害関連	50,000	100,000	△ 50,000	
	関連団体	10,000	10,000	0	
事業雑費		5,000	5,000	0	
	事業雑費	5,000	5,000	0	
給料手当		613,000	600,000	13,000	
	給料通勤手当費	600,000	600,000	0	
	法定福利費	13,000	0	13,000	
租税公課費	諸税	48,000	48,000	0	
受信費	電話料	70,000	100,000	△ 30,000	
消耗品費		150,000	150,000	0	
	消耗品	120,000	120,000	0	
	印刷費	30,000	30,000	0	
光熱水料費		70,000	40,000	30,000	
消耗什器備品費		100,000	100,000	0	
リース費		10,000	47,000	△ 37,000	
支払負担金		5,000	5,000	0	
委託費	事務所管理費2階	258,000	258,000	0	
保険料	火災保険料	15,000	15,000	0	
②管理費		2,508,040	2,632,040	△ 124,000	
給料手当		613,000	600,000	13,000	
	給料通勤手当費	600,000	600,000	0	
	法定福利費	13,000	0	13,000	
会議費		550,000	550,000	0	
	理事会費	130,000	130,000	0	
	各委員会費	200,000	220,000	△ 20,000	

	役員活動費	120,000	100,000	20,000
	総会開催費	50,000	50,000	0
	総会準備費	50,000	50,000	0
旅費交通費		780,000	780,000	0
	理事会旅費	450,000	450,000	0
	各委員会旅費	180,000	180,000	0
	役員活動旅費	150,000	150,000	0
租税公課費	諸税	35,000	35,000	0
支払負担金		5,000	5,000	0
	受信費電話料	50,000	50,000	0
消耗品費		100,000	100,000	0
	消耗品費	70,000	60,000	10,000
	通信費	30,000	40,000	△ 10,000
光熱水料費		50,000	80,000	△ 30,000
消耗什器備品費		50,000	100,000	△ 50,000
リース費		10,000	47,000	△ 37,000
委託費事務所管理費1階		140,040	140,040	0
	保険料火災保険	5,000	5,000	0
渉外費		20,000	40,000	△ 20,000
管理雑費		100,000	100,000	0
	管理雑費	50,000	50,000	0
	修繕費	50,000	50,000	0
③特定預金積立金		100,000	100,000	0
	特別事業	0	0	0
	備品購入	0	0	0
	事務所整備	100,000	100,000	0
	マンション改修	0	0	0
④記念事業積立預金		200,000	200,000	0
	創立75周年記念誌発刊	100,000	100,000	0

法人設立40周年記念事業	100,000	100,000	0
事業活動支出合計 (B)	7,502,040	7,530,040	△ 28,000
事業活動収支差額 (A) - (B)	238,110	210,110	28,000
II 投資活動収支の部	0	0	0
1. 投資活動収入			
2. 投資活動支出	0	0	0
固定資産取得費			
事務所購入費	0	0	0
什器備品購入費	0	0	0
投資活動支出合計 (C)	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部財務活動収入	0	0	0
財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費 (D)	238,110	210,110	28,000
当期収支差額(A) - (B) - (C) - (D)	0	0	0
前期繰越収支差額	911,136	911,136	0
次期繰越収支差額	911,136	911,136	0

(注)借入金限度額 1,000,000 円

債務負担額 10,000,000 円

第11回理事会報告 令和4年3月5日（京放技会議室）

議長に村上理事、書記に三浦理事を選任し16時30分より議事開始

1. 経過報告及び計画

1) 経過報告及び計画 河本会長

・経過報告

- 2月6日 令和3年度京放技学術大会（Web）
- 2月19日 令和3年度第2回近畿地域診療放射線技師会会長、副会長会議
（ハイブリッド開催）奈良県放射線技師会事務所
- 2月20日 令和3年度近畿地域診療放射線技師会学術大会（Web）
- 3月3日 選挙管理委員会（京放技事務所）
- 3月5日 令和3年度第11回理事会（京放技会議室）
- ・計画
- 3月10日 学術委員会（京放技事務所）
- 4月2日 令和3年度期末監査（京放技事務所）
- 4月9日 令和4年度第1回理事会（京放技会議室）
- 5月7日 第75回通常総会、令和4年度第2回理事会（Web）
- ・告示研修会（近畿）予定
- 3月12・13日 京都府
京都府立医科大学看護学科看護学舎（中止）

2) 各委員会報告及び計画

【庶務】後藤理事

- ・会員数2月28日現在677名（1月から+2）
- （内訳）名誉会員4名、正会員651名、賛助会員22名（社）、新卒入会1名、転入会2名、転出1名
- ※令和3年度新入会累計38名（再入会9名含む・転入会は含まず）
- ・経過報告
- 2月1日 ニュース発送作業
- 2月2日 理事会準備、その他事務処理
- 2月7日 議事録作成作業（自宅）
- 2月12日 立ち入り検査準備作業
- 2月22日 理事会準備、事務員給与処理
- 2月25日 収発刊文書整理（吉田）
- 2月28日 理事会準備作業
- ・対外文書（2月1日～2月28日）67件
- ・発刊文書（2月1日～2月28日）5件
- ・提案事項
- 新卒入会：1名、転入会：2名《承認》
- ・報告事項
- 転出：1名、勤務先変更：2名、勤務先・住所変更：4名、氏名変更：1名
- 【財務】渡里理事
- ・会費納入状況（令和4年2月末）

令和3年度会費納入者570名、令和2年度会費未納者11名

・経過報告

- 2月18日 京都府監査資料作成
- 2月22日 2月収入歳出処理
- 2月28日 2月収入歳出処理（渡里/森）

【学術】中川政幸理事

・経過報告

- 2月6日 京都府放射線技師会学術大会（Web開催）
参加者146名
- 2月24日 第3回学術委員会開催日について（メール連絡）
- ・活動予定：
- 3月10日 学術委員会（参加型）
- 3月18～27日
府民公開講座「自立した生活を続けるための運動のコツ～健康寿命を延ばそう～」（Web開催）
- ・提案事項
- 次年度フレッシューズセミナーの開催方法について

【編集】平井理事

・経過報告：主なもの

2月

- ・ニュース発送作業手伝い（京放技事務所）
- ・第10回理事会資料作成（自宅）・印刷（京放技事務所）
理事会後、資料追加編集作業、理事送信
- ・3月号ニュース 作成・編集・校閲作業（平井）
- ・校閲（平井・村上（雅）・中島）作業
- ・告示研修下見（京都府立医科大学）
- ・年報広告確認、整理作業（自宅）
- ・第11回理事会資料作成
- ・理事会に報告・提案事項
- ・令和3年度京放技雑誌・広告依頼報告（令和4年2月25日現在18社）
- ・Adobe Acrobat DC購入希望（編集業務の円滑な業務遂行のため）

【広報・渉外】三浦理事

・経過報告

3月末までに 京都府補助金の申請書・報告書の作成

【組織調査】蒲理事

・経過報告

- 2月21日 東地区班編成見直し案内 発送作業
- ・提案事項
- 1月に審議いただいた東地区班編成見直しで、資料の一部に誤りがあり再提出

【厚生】中川稔章理事

・報告事項特になし

【情報】大西理事

・経過報告 10件(主なもの)

2月16日 両丹地区研修会の接続テスト&打ち合わせ(増井先生)

3月2日 両丹地区研修会開催補助

ホームページのトップページを更新(2月8日、3月1日)

令和3年度京都府放射線技師会学術大会業務(2月5日6日13日)

・活動予定:

3月18日~27日 府民公開講座(Web/YouTube公開)

【管理士】山根理事

・報告事項特になし

【両丹学術】橋岡理事

・経過報告

2月16日 地区委員会(Web)・冬季研修会接続テスト

3月2日 両丹地区冬季研修会(Web)・総会(活動報告会)

・活動予定

3月25日 地区委員会 地区理事引継ぎ(対面)

【受賞者選考委員会】河本会長

・報告事項特になし

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】安藤理事(欠席)**

・経過報告

メール配信(地区連絡網)にてお願い

2月12日 令和3年度近畿地域診療放射線技師会学術大会再度
参加登録

【中地区】尾関理事(欠席)

・経過報告

メール配信(地区委員)

2月4日 近畿学術大会参加申し込み期間延長のお知らせ

2月14日 近畿学術大会再度参加のお願い

2月22日 次期地区理事選挙の投票締め切りについて

【東地区】加藤理事(欠席)

・経過報告

メール配信(地区連絡網)にてお願い

2月3日 令和4・5年度地区理事投票

【西地区】森理事

・経過報告:

メール配信(地区連絡網)にてお知らせ

2月10日 第3年度近畿地域診療放射線技師会学術大会/参加
登録締切延長

【南地区】杉原理事

・経過報告:

メール配信(地区連絡網)

2月9日 近畿地域診療放射線技師会学術大会 参加依頼

2月16日 原子力災害医療基礎研修 案内

【両丹地区】村上理事

・経過報告:

2月 京放技よりの情報提供を各施設へメール送信

2月16日 冬季研修会接続テスト両丹地区委員 Web

【西南部地区】松本理事

・経過報告:

メール配信(地区連絡網)

2月8日 令和3年度近畿地域診療放射線技師会学術大会案内

3月1日 告示研修中止の案内

III. その他審議事項

・選挙管理委員会報告(林選挙管理委員長)

・令和3年度第2回近畿会長会議報告(河本会長)

・役員報酬規程の修正(河本会長)

以上、各議案について採択し承認された (文責:平井)

告示研修（実技研修）開催の中止についてお詫び

3月12、13日に京都府立医科大学看護学舎において告示研修（実習）開催の準備をしておりましたが、3月1日現在、京都府内におけるコロナ感染患者の減少ペースも鈍く、近畿各府県でまん延防止等重点措置の延長も検討されています。また3月6日以降の他府県から観光者も増えることが予想されている現状では、十分な感染対策を講じても市中感染は防ぐことが難しいと考え、参加者及び関係者の健康を第一に考慮した結果やむなく中止としました。

当会のファシリテーターが中心となって開催にむけて準備をしてきましたが、複数の受講者が参加する施設や他府県からの受講者もおられますことから対面式の研修が基本となっている実技研修の開催は困難と判断せざるを得ず、残念ながら今回中止としました事をお詫び申し上げます。今後につきましては、令和4年度の開催が確定次第、当会ホームページやJARTホームページにてご案内いたします。

京都府放射線技師会 会長 河本 勲則

▶ 理事会報告

・誌面にも掲載があります様に地区理事選出選挙が終了し、令和4・5年度地区理事が決定しました。

編集後記

ようやく春らしい陽気になり、さくらの便りも聞かれる中、新型コロナウイルス感染症はまん延防止等重点措置も解除され、3度目の予防接種の効果で重症化リスクは減少したものの、京都府の病床使用率は46%とまだまだ低下せず、皆様におかれましても日常業務での感染対策等、大変な状態が続いていることや、当院でも起こっていますが、子供からの感染や幼稚園・保育園での感染者による休園での職員休暇による人員減での業務でご苦労されている施設も多いと思います。終息へと転じることを期待・願望しかないです。

お花見、新人歓迎会、高校野球観戦、旅行はもう少しの我慢？で、夏にはビアガーデン、バーベキュー、キャンプ、高校野球観戦、旅行、会員の皆様との親睦会できることを期待・夢見て日常業務に邁進していきます。

今年度の京都府放射線技師会は、前年度に引き続き感染対策を十分に配慮した勉強会講習会や研修会をWeb開催も含め企画し、会員の皆様のご期待に添えるよう執行部一丸となり取り組んでいきますので、今後とも会員皆様のご協力・ご参加を宜しく願います。

編集委員会 平井 靖

▶ 会員異動

【会員数】 677名

【新卒入会】 1名 【転入会】 2名 【転出】 1名

(令和4年2月28日時点)

編集：(公社)京都府放射線技師会編集委員会 印刷：(有)修美社